



この先祖の深い信仰心に感動した卯平氏が、松尾一族の今日あるのもその功德として、追慕の碑を昭和の御代の始まりに際して建てられたので

す。三太郎氏が安置した弘法大師石像は、今も追慕の碑のそばにあり、また寛政二（一七九〇）年寄進の観音石仏、安政二（一八五五）年の石祠と別の弘法大師石像、お地藏さんが見られます。

いわれ書きによると、碑が建てられたのは、昭和天皇が即位され、その就任式である御大礼当日の昭和三年十一月十日。建立者は松尾卯平氏で、当時の崎針尾村村長の村田国助、穴見良の両氏の名もあります。松尾家の先祖である三太郎氏が真言宗の開祖である弘法大師空海の霊夢を見て、嘉永五（一八五二）年、ここに弘法大師の石像を奉安する仏祠を建てられたのにちなみます。

この松尾家からは、昭和五十八年五月に第二十七代佐世保市議会議長の要職をつとめた松尾卯七氏（平成三年五月六十三歳で死去）が出られました。九州帝大卒ながら、ユーモアを解するおおらかな人柄で、地元針尾にとどまらず、広く市民の人望を集めておられました。



歴史 散歩 第539回

功德追慕之碑・針尾中町

撮影・文・筒井隆義

針尾島で一番高い虚空蔵岳（二〇九・四尺）の南のふもと、岳の田バス停を降りて山に向かう道のそばに、「功德追慕之碑」が台座の上に建てられ、まわりに数基の石仏が安置されています。木のベンチが置かれ、ひと休みできるよう植木も配られています。

こうしてみると、この岳の田は江戸時代中期から真言宗信仰の地だったようです。山の名にもなっている虚空蔵菩薩の石像と祠も山頂に安置され、山頂から二十以下にある五島様墓も、三体の観音像と弘法大師の石像で営まれています。文化五（一八〇八）年の建立です。

市長日記 弓張岳「天空展望台」

市街地から九十九島まで一望できる第2展望台からの眺め



佐世保市民の皆さんのほとんどは「弓張岳の展望台」に一度は行かれたことがあると思います。しかし、ことし4月以降に足を運ばれた方はまだ少ないのではないでしょうか。一度行ってみられませんか。「あっ！」と驚くくらいに整備されていますよ。

これまで展望台へは駐車場から石段を登っていかねばならず、足場も良くなかったのですが、今はバリアフリーで車椅子でも登れるように、ウッドデッキのロープが回廊式に設置されています。このウッドデッキのロープをゆっくり登りながら、佐世保市街、佐世保湾、そして九十九島と変化のある景色を楽しめます。

また九十九島方面を見渡すには、これまで木々がじゃましていたのですが、ウッドデッキが天空に伸びて、まさしく「天空展望台」のような感じになり、これまでとは趣の違った九十九島の遠景を見ることができま。市民の皆さんはもちろんですが、市外・県外

からのお客さまや、観光客の方々にも、古くて新しい観光スポットとしてご案内されてみたらいかがでしょうか。



回廊式のロープが設置された展望台

この弓張岳展望台からの眺めは、九十九島八景の一つですが、市民の皆さんは八景すべてを巡られたことがおありでしょうか。ちなみに他の7つは、展海峰展望台、石岳展望台、船越展望所、鶴渡越展望台、冷水岳展望台、高島番岳展望台、そして新しく合併した鹿町地域の長串山公園展望所からの眺めです。

それぞれに素晴らしい九十九島の景観が楽しめます。休日などには、ご家族で、恋人同士で、仲間たちと一緒に出かけませんか!

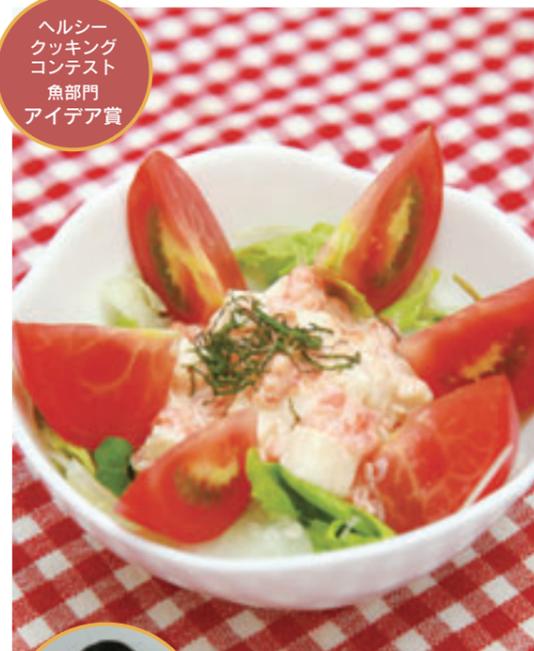
佐世保市長 朝長 則男

SASEBO

編集後記
新年度になって早1カ月が過ぎました。進学や就職、転勤など、生活環境に変化があった人たちもようやく慣れてこられた時期ではないでしょうか。「広報させぼ」の編集スタッフも4月の人事異動などで4人のうち2人が入れ替わり、今月号の編集作業から新体制で臨むことになりました。慣れない作業に悪戦苦闘する新スタッフ、それをサポートしながら不安顔の先輩職員、頑固一徹な上司。ゴールデンウィークでいつもより編集期間が短い中、最初はどうなることかと思いましたが、今月号も何とか予定どおりに発行することができました。今後は新スタッフにあふれる個性を發揮してもらいながら、新しい広報紙づくりに挑戦していきたいと思っておりますので、応援をよろしくお願いいたします。(T→頑固)

PUBLIC RELATIONS SASEBO 2010_6

元気な朝ごはんレシピ サーマンとながいものサラダ



青しそを飾りつけることによって、魚の臭みがなくなりました。野菜たっぷりでも魚と一緒に食べることができます。

●考えていただいた人 宮崎みかほさん (佐世保北中学校3年・当時)

●1人分の栄養価 熱量151kcal、たんぱく質10.0g、脂質8.6g、塩分1.1g

- 材料・4人分
- ながいも 150g
 - 酢 大さじ1/4
 - 水 1/2カップ
 - 大根 1/4本
 - 塩 小さじ1/6
 - レタス 1.5枚(手でちぎる)
 - 貝割れ菜 1/2パック
 - 調味料
 - マヨネーズ 大さじ3
 - しょうゆ 大さじ1
 - レモン汁 大さじ1/2
 - 青しそ 1.5枚(千切り)
 - トマト 1.5個(くし型切り)
 - 鮭の切り落とし 150g

- 作り方
- ①ながいもは皮をむき、酢水に5分ほどつけ、水気をふいて1cm角に切る。
 - ②大根は縦に4等分して薄切りし、塩を振ってしんなりさせる。レタスは水につけ、貝割れ菜は半分の長さに切る。
 - ③調味料の材料をボールでよく混ぜる。
 - ④鮭の身を包丁で細かく刻む。
 - ⑤①のながいもと④を③に加え、味がなじむまでよく混ぜる。
 - ⑥大根とレタス、貝割れ菜をさっと混ぜて皿に盛り、⑤をのせる。トマトと青しそで飾りつけて完成。

もしもの備えは大丈夫？ 風水害などに備えましょう!

まもなく梅雨の季節を迎えます。日ごろから気象情報に気を配り、注意が必要ときには、テレビやラジオなどで最新の情報を収集し、災害に備えましょう。

避難所表示板

本市では、地区公民館や学校、公園などを災害時の避難場所に指定し、地域住民に広く周知するために「避難所表示板」を設置しています。避難する場合は、周囲の状況を確認し、安全な経路で避難してください。



災害時の連絡先

- がけ崩れ、落石などの土砂災害→河川課☎24-1111
- 道路に関する災害→道路維持課☎24-1111
- 上記以外の災害→消防局防災対策課☎23-5121
- 人命にかかわる緊急な災害→消防局指令課☎119

■早めの避難

土砂災害の多くは雨が原因で発生します。1時間に20mm以上、降り始めから100mm以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

■日ごろの備え

- ①日ごろから危険な場所などを調べ、災害時の避難場所や安全な避難経路などを確認しておきましょう。
- ②高齢者などには隣近所で声を掛け合い、災害時には一緒に避難しましょう。
- ③雨量情報や土砂災害の前兆現象など、周囲で異変を発見したら早めに避難しましょう。

☎消防局防災対策課 ☎23-5121

●行政センター管内の災害

- 吉井行政センター☎64-3111、世知原行政センター☎76-2211
- 小佐々行政センター☎41-3111、宇久行政センター☎0959-57-3111
- 江迎行政センター☎66-2111、鹿町行政センター☎77-5111